

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
550冊(334人)11/17 現在
文責 校長 宮脇 真一

県のリスクレベルが、先週末「レベル2」になりました。引き続き感染対策への御協力をお願いします。学校では、持久走記録会に向けての取組が始まっています。走る際は「マスクははずす」と指導していますので、御理解のうえ、家庭でも話していただくようお願いします。



体力向上中（2年：持久走）
（令和4年11月18日撮影）

「語り・つなぐ」～6年生の学び～

13日（日）から14日（月）にかけて6年生は長崎への修学旅行に出かけました。

平和公園周辺のフィールドワークで指導いただいた12人のボランティアガイドの皆さんや講話をいただいた八木道子先生は被曝を体験されています。皆さんが共通して話されたのは「戦争は一旦始まると、終わらせるのがたいへん困難であり、決して始めてはならないこと」「戦争をすることは、最大の差別であること」ということです。被曝により幼いきょうだいの命を奪われた少年が、そのきょうだい火葬される場所を、唇を噛み締めながら見つめている写真の説明の際には、自分の家族、きょうだいのことを思い、涙を浮かべる児童も見られました。八木先生は「被曝経験者は高齢化し、いつか亡くなってしまう。だからこそ、今日話した事実を語り継いでほしい」とその思いを託されました。しっかりと受け止め、平和な世の中の担い手となる思いを強くした学習でした。



八木道子先生の講話

ハウステンボスでの班活動は、大津小学校の財産である「生活数理」の学習を活かす「実の場」です。事前の計画と実際のずれ、そのずれを修正しながら時間とお金を工夫して使うなど、楽しみながら多くの学びを得る時間となりました。

自分を鍛える～12月1日・2日に熊本県学力・学習状況調査を実施します～

学校での学びは、生きる力を育むことを目指しており、児童は、内容を学びながら同時にその学び方も学んでいます。この日々の学びの定着を測る機会が国や県、町が実施する「学力・学習状況調査」です。教科の学習内容の定着状況と、日頃の学習状況もアンケートを使って調査します。得られた結果については、その良し悪しで一喜一憂するのではなく、成果と課題を児童自身が正しく把握し、その課題を克服するために自分の学びをいかに工夫するか考えるという事後の取組が大切です。この繰り返しにより「自分に自信と夢を」つけていきます。

今年は12月1日と2日に調査を実施します。4月からの授業及び家庭学習での自分で自分を高める積み重ねの成果が学年の発達段階に応じて発揮されることを願っています。また、児童が持っている力を正しく把握するために、調査問題の形式や解答用紙を使った解答方法など「調査への参加の仕方」についての指導を現在行っているところです。